



太田 万里展

おおた
まさと

2021.3.23〔火〕 — 5.9〔日〕

開館時間 | 〔平日〕午前9時～午後6時 (4月からは午後7時) 〔土日〕午前9時～午後5時
休館日 | 毎週月曜日、4月29日(木・祝)、5月4日(火・祝)、5月5日(水・祝) 入館料 | 無料

作展 〔上〕太田萬里《白山梨園竹村》、〔左端〕『オキツツクス』、〔左端〕『イナナフシ』、〔右上から右下へ〕『オキコンツク』、『イナナフシ』、『ウケシシツク』、『オキエノコ・ミヤノガサ』(複製)、『シラネアオイ』、『オミシサイシン』、『アマツギチ・ササギ』(複製)、『サツムシツク』、〔右〕、『オミシサイシン』



庄内町
内藤秀因水彩画記念館

Shonai Town Shuin Naito Museum of Watercolor



山形県東田川郡庄内町余目字三人谷地58-1
TEL 0234-43-3039
<https://www.town.shonai.lg.jp/naito/>



太田 万里展

おおた
まさと

本展では、日本画家太田義一（狩川出身）の三男であり、日本画家、山野草研究家、草木染研究家の太田万里氏（1929～）による絵画と工芸品、あわせて約50点をご紹介します。

太田氏の絵のテーマは野山や川辺の風景や草木、そこをすみかとする小さな生き物たちの姿です。第1展示室では、冬～春の庄内の山河や山里を描いた風景画と、草木染を展示しています。続く第3展示室では、庄内で見られる山野草や昆虫、水辺の生物を描いた小品を展示しています。

パネル、色紙、短冊、絵葉書など様々な形の和紙に描かれた絵は、いずれも山野草に関する知識と確かな観察眼、そして優れた画力を合わせて生み出された、太田氏ならではの表現といえます。



《雪どけ》

繊細な筆さばきに、対象への愛情や遊び心が加わった作品の数々をどうぞお楽しみください。

また、同展では、太田氏に草木染について師事し、氏と親交の深い鶴岡市の染色家、近井肇氏による染型紙10点も展示しています。染型紙は着物の柄を染めるための型紙で、渋紙に彫刻を施して作られます。染型紙を用いて染めた布はもちろんですが、型紙自体も工芸品として鑑賞できます。

本展でご紹介するのは、染型紙を行灯や衝立として仕立てた作品です。江戸小紋などの伝統的な図案が緻密に彫られた彫の技、コントラストの美しさにご注目ください。



《シラネアオイ》

太田万里プロフィール

1929年、日本画家 太田義一（庄内町出身）の三男として、東京都台東区に生まれる。

終戦後、鶴岡市役所、県立農林専門学校、演習林に4年間勤務。

帰京後は東京都立新宿生活館で染色研究会講師を務めながら、井の頭公園、神代植物公園にて植物・昆虫標本の制作と整理や、山野草展・草木染展などを手がける。

ほかに朝日カルチャー講師、NHK園芸・婦人百科講師など。

現在、日本画家・草木染研究家。

感染症対策実施中



来館者確認



検温



マスクの着用



手指消毒

風邪・発熱症状等が認められた場合は来館をお控えください。
なお、感染状況により開館時間等が変更となる場合がございます。
最新情報は随時当館ホームページにてご案内いたします。ご確認のうえご来館ください。ご協力をお願いいたします。



図版 左から《ハマギク》、《アオツツラフジ》、《ネコヤナギ》